野底小学校だより
令和７年７月号

野小っ子

〔連絡先〕
住所：石垣市字野底１３８番地
TEL：０９８０－８９－２１４４
FAX：０９８０－８９－２０７９
Email:nosoko-s@ishigaki.ed.jp

「豊かな心」で平和な世の中を

６月は、命と平和について考える月として学校では、様々な取り組みが行われました。その取り組みと関連し、校長講話では、以下のことについてお話ししました。

６月23日は「慰霊の日」です。この日は、沖縄戦で犠牲となった方々の霊を慰め、世界の恒久平和を願う日です。沖縄県だけの特別な休日であり、私たち沖縄県民にとって非常に重要な日です。沖縄戦は1945年に行われ、多くの命が失われました。この日を通じて、私たちはその犠牲者を追悼し、戦争の悲惨さを忘れず、平和の大切さを再確認する機会としています。

戦争と平和について考えるとき、皆さんとどのような関係があるのでしょうか。戦争は人間が引き起こすものです。そして、平和は人間がつくるものです。皆さんには、平和を作る人間になってほしいと心から願っています。平和を築くためには、まず自分自身が平和な心を持つことが大切です。日々の生活の中で、他人を尊重し、思いやりの心を持つことが平和への第一歩です。

私が考える平和とは、「豊かな心」をもって生活することです。野底小学校が大切にしているこの「豊かな心」を、皆さんも日々の生活の中で育んでほしいと思います。「豊かな心」とは、野底っ子が考えた他人を思いやる心、助け合う心、そして感謝の気持ちなどです。これらの心を持つことで、皆さんは周りの人々と良い関係を築き、平和な社会を作ることができます。

皆さんには、平和な世の中をつくっていく責任があります。そして、自分で考えて行動できる力や、人を大切にする力を身につけてほしいと願っています。このことを心に留めて、日々の生活を送ってください。自分で考える力とは、問題を解決するための創造力や判断力です。そして、人を大切にする力とは、自分と他者の違いを認め、他人の意見を尊重し、協力する姿勢です。

「平和はただ与えられるものではなく、私たち一人一人が努力し、協力し合って築き上げるもの」一緒に平和な未来を築いていきましょう。

戦後80年目の節目を迎え、過去の史実から戦争の悲惨さや、平和の尊さ、命の大切さを考え、これからの平和な世の中の創造に向けご家族でも考えてみてはいかがでしょうか。

７月の行事

２日（水）児童朝会　委員会
３日（木）不審者対策避難訓練
４日（金）水泳学習③
８日（火）１学期学校テスト（国･算）
９日（水）読書　クラブ
１０日（木）個人面談①
１１日（金）個人面談②
１４日（月）人権を考える日
１５日（火）全体清掃
１６日（水）読書　４校時授業
　　13：20 下校
１８日（金）１学期終業式

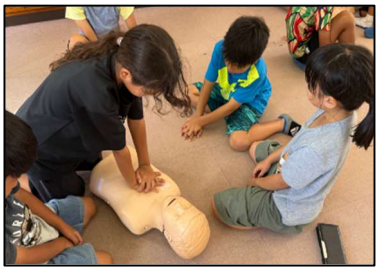
８月２８日（木）２学期始業式
２９日（木）身体測定

【６月 野小っ子学びの姿】

４日（水）保健委員会が、６月４日の虫歯予防デー・歯と口の健康週間の取り組みの一環として、歯磨きの重要性や歯磨きの方法、気をつけることが理解できるようにクイズを出題するなどの工夫を凝らした集会を開きました。また、担当の先生からは、今ある歯がむし歯になったことのない 12 名の児童の紹介がありました。

小学校では、給食後歯磨きの時間を設定しています。

「命を守る・命を救う」



９日（月）安全教室（救急救命）を行いました。その中で、心肺蘇生法を学び、実際に人形を使って練習しました。子供たちは、まずは現場の安全確認、次に傷病者の意識確認、そして 119 番通報と AED を手配すること、意識がない場合は、直ちに心肺蘇生（胸骨圧迫）を開始し、AED が到着したら使用することを学びました。どの子も真剣に取り組んでいました。ぜひ、ご家庭でも話しを聞いてあげてください。

その場に居合わせた人が応急手当を速やかに行えば、救命効果の向上に繋がることや実際の救急現場においても、居合わせた人が応急手当を行い救急隊に引き継ぎ、尊い命が救われた事例が数多く報告されています。教職員も救急救命研修を実施し、万が一に備えています。

稲作学習：稲刈り

１７日（火）に１年生から４年生までの児童が稲刈りを行いました。３月３日に植えた稲が成長し、稲穂の重みで垂れ下がり黄金色の稲穂が稲刈りのサインだということ。田植えから１１０日～１２０日で収穫できることを学んできました。この日を楽しみにしていた子供たちは、小川喜美江先生のご指導のもと一株一株丁寧に収穫しました。

【野底小学校ならではの稲作】

豊かな自然環境を生かした野底小ならではの稲作体験学習からの学びがあります。それは、田んぼ近くの校舎に巣を作りヒナを育てるツバメとの共存です。学校で稲作をする際に課題となるのが、スズメなど鳥による被害がありますが、野底小学校では、鳥よけを設置するなどの作業の必要性がありません。ツバメが子育てをすることで、縄張りができ、田んぼに近づく野鳥を追い払うからです。その様子は、日常的に見ることができます。

また、害虫となる虫をツバメがエサにしていることも稲の害虫被害を防ぐことに繋がっています。このように田んぼ（稲）とツバメの共存関係が、野底小学校にはあります。

これらの野底の自然との繋がり、人々との繋がりの中で子供たちは多くのことを学んでいます。子供たちにとっては、当たり前にある自然や先生方によって準備された道具や専門家の方々ですが、周りの自然への敬意やお世話になっている方々への感謝の気持ちも育んでいきたいと思います。